

平成20年度 市民公募型パートナーシップ事業 採択一覧

*順不同

団体名	代表者名	事業名	概要
特定非営利活動法人 資源循環型社会推進機構 RCS	上森 英孝	3R検定実施記念 京都デザインエコトートバックコンテスト	「3R検定」をテーマにデザインエコトートバックコンテストを実施。「検定」・「コンテスト」を融合させることで、PR活動等における相乗効果も狙う。
美しい祇園祭をつくる会	松井 恵	祭におけるごみ削減目的のための活動と分別回収。山鉾町内・ボランティア協働による「美しい空間づくり」「狭窄地域における危険性」の調査ならび活動	祇園祭に訪れた人々に対してのごみの分別回収啓発活動・分別回収・散乱ごみの現状調査を行う。また、各山鉾町との連携を強化できるよう、より多くのボランティアの協力を得られるよう努める。活動の継続を目指し、関係者と協議を重ねる。
特定非営利活動法人 木野環境	齋藤 友宣	事業系一般廃棄物の他分別収集事業	事業系一般廃棄物業者と排出事業者とに協力を依頼し、分別収集を行い、収集方法やコストについて調査することで、事業系一般廃棄物の他分別回収事業の可能性を検証する。
もったいないを伝えるごみ図鑑編集委員会	神谷 潔	君はごみを知っているか写真集作成事業	家庭ごみの写真を編集し、写真集を作成する。多くの人に「もったいない」の実態を写真で伝え、真の循環型社会について考えてもらう。
梅逕安心安全ネットワークごみ減量推進会議	加藤 純一	～私たちの小さな町から地球環境を考えよう！～	地域イベント毎に、リユース食器を使用。エコクッキング、生ごみコンポストでの堆肥作り、環境学習等を地域で取り組む。
特定非営利活動法人 環境安全センター	郡嶌 孝	過剰梱包抑制事業	通信販売における過剰梱包の実態調査、傾向の分析を行い、ホームページで情報を公開する。
特定非営利活動法人 地域環境デザイン研究所 ecotone	太田 航平	市民ボランティアの育成による環境対策の促進	おまつりの来場者にリユース食器回収洗浄及び資源分別回収の指導をするボランティアスタッフを育成する。
幼児のための環境学習プログラム作成の会	天野 光雄	資源・エネルギー環境学習プログラム開発、実施	幼児を対象にした体験型環境学習プログラムを作成し、児童館や保育園等で実施する。
FoE京都	杉谷 保憲	「京に使い捨ては似合わない～器も中身も楽しもう」	ファーストフード・コーヒーショップチェーンのリユース食器使用調査を行い、ホームページや事業者を交えたフォーラムで消費者に結果を知らせる。また、まだ取組の進んでいない店舗には取組のヒントとなるような情報を提供する。

京都工芸繊維大学・繊維リサイクル技術研究センター	木村 照夫	“繊維リサイクルモデル都市京都”構築に関する啓発活動（衣服の3Rマンガの作成）	衣服ごみについてのマンガを作成し配布することで、服を長く大切に使うことや、リユースの促進、繊維リサイクルの現状等を広く知らせ、衣服ごみの3Rを促進する。
社団法人 京都市児童館学童連盟	山手 重信	児童館で取り組むエコ活動	児童館という小学生や乳幼児親子が集う場所で、環境について学ぶ機会や環境について考える機会を設け、家庭での実践や、将来を担う子どもの環境意識の向上に繋げる。
STARLIGHT STAGE	藤原 伊織	木屋町情熱劇場（リユース・コース）	廃校をリユース（再利用）した会場、リユースをテーマにした演劇・落語等のワークショップやイベントの開催を通し、多くの人にリユースについて知ってもらい、リユースの促進を図る。
特定非営利活動法人 環境市民	枚原 育生	冊子「エコ地蔵盆のすすめ（仮）」の作成	地蔵盆にごみ減量をはじめとする環境負荷低減の取組を盛り込んで行う“エコ地蔵盆”。そのエコ地蔵盆について、取組の手引きとなるような冊子を作成し、開催を促進することで、ごみの減量や参加者の環境意識の向上に繋げる。
LIVE！京都議定書バースデー実行委員会	増田 秋人	LIVE！京都議定書バースデー ～Do you Kyoto?Yes,3R!～	京都議定書イベントやウォーキングイベント、自治会等と連携し、3Rをテーマにした音楽ライブやリユースフリーマーケットを開催し、3Rの啓発に努める。